

地域部活動推進事業 ～実践研究事例～

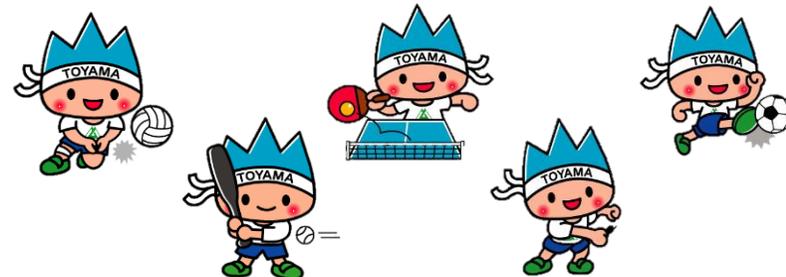
地域部活動推進事業 実践研究(8市町村)

➤ 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究

(高岡市・黒部市・南砺市・朝日町・富山市・射水市・滑川市・小矢部市)

➤ 合理的で効率的な部活動の推進に関する実践研究

(南砺市)



R
3

高岡市 (中学校11校、義務教育学校1校)

- ・全中学校の各部活動が拠点施設に集まり活動する。
- ・高岡市体育協会及び高岡市地域スポーツクラブ

黒部市 (中学校2校)

- ・市内中学校の部活動が合同で活動する。
- ・KUROBE型地域部活動あり方検討会(黒部市教育委員会)

南砺市 (中学校5校、義務教育学校1校)

- ・地域に根差した拠点競技を選定し、持続可能にする。
- ・拠点競技ごとに生徒が集まり、合同で活動する。
- ・競技団体

朝日町 (中学校1校)

- ・地域でコミュニティを形成し、部活動を運営する。
- ・朝日町型部活動コミュニティクラブ

R
4

富山市 (中学校1校)

- ・地域クラブが部活動を支援し、活動する。
- ・地域クラブ

射水市 (中学校6校)

- ・市内中学校を競技ごとに活動場所を決め、合同で活動する。
- ・射水市教育委員会

滑川市 (中学校1校)

- ・競技協会と連携し、活動する。
- ・滑川市教育委員会

小矢部市 (中学校4校)

- ・市内の地域クラブ等を受け皿として活動する。
- (運動部)・NPO法人おやべスポーツクラブ
- (文化部)・市吹奏楽団

合
同

南砺市 (中学校7校、義務教育学校1校)

- ・市内全学校を対象とし、10競技で合同部活動として活動する。



休日の部活動の地域移行 ～実践研究例～

Aモデル

市町村が任意団体を創設し、当該事務局が地域や中学校等と連携

- ・市町村が任意団体を創設し、コーディネーター等が指導者の調整、中学校等との連絡調整、活動場所の利用調整等を行う。

【参考例】

- ・朝日町(朝日町型部活動コミュニティクラブ)

Bモデル

総合型地域スポーツクラブ等が運営事務局として、地域や中学校等と連携

- ・総合型地域スポーツクラブが運営事務局となり、コーディネーター等が指導者の調整、中学校等との連絡調整、活動場所の利用調整等を行う。

【参考例】

- ・小矢部市(NPO法人おやべスポーツクラブ、市吹奏楽団)

Cモデル

市町村が運営事務局となり、競技団体と連携

- ・市町村が運営事務局となり、地域の競技団体に協力依頼をし、学校や競技団体等との連絡調整や活動場所の利用調整等を行う。

【参考例】

- ・富山市(富山市教育委員会) ・高岡市(高岡市教育委員会)
- ・射水市(射水市教育委員会) ・南砺市(南砺市教育委員会)
- ・黒部市(KUROBE型地域部活動あり方検討会)

Dモデル

市町村が運営事務局となり、学校・家庭・競技団体・総合型スポーツクラブと連携

- ・市町村が運営事務局となり、学校・家庭・地域の競技団体・総合型地域スポーツクラブとの連絡調整や活動場所の利用調整等を行う。

【参考例】

- ・滑川市(滑川市教育委員会)